

「中学校給食の充実及び食育の推進に関する実態調査」の詳細分析に係る
委託内容について

1 委託目的

現在の学校や保護者、生徒の食生活や昼食、栄養摂取状況等の実態把握を行うとともに、平成10年度に学校と生徒を対象に実施した実態調査（以下、「前回調査」という。）との比較・検証を行うことにより、現行の本市中学校給食の更なる充実と食育の推進を図る。

2 委託期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日

3 委託先

学校法人同志社 理事長 八田 英二
委託業務担当者 同志社女子大学生生活科学部食物栄養科学科教授 小切間 美保

4 委託金額

¥350,000-

※委託金額については、作業量の増加に伴い変更する場合がある。

5 委託先選定理由

委託先の小切間教授は、栄養学の専門的見地を有するとともに食育や学校教育にも造詣が深く、令和元年度に実施した「実態調査」の調査項目の検討段階から、外部有識者として指導・助言頂いていたことから、委託先として最も適当であると判断し随意契約を締結した。

なお、同志社女子大学と本市の間では、令和元年度からの実態調査に係る連携状況も踏まえ、令和2年8月に、「食」を通じた地域活性化と人材育成に関する包括連携協定を締結している。

6 委託内容

以下の調査内容に関する集計結果について、前回調査との経年変化や関連する項目のクロス集計等の詳細分析を行うことにより、それにより得た結果・傾向に関する考察を報告する。

	調査対象	調査内容	設問数 (内訳※)
学校	全市立中学校及び小中学校 (後期課程) 73 校	① 学校の取組や学校が把握する 生徒・保護者の食生活・意識	13 問 (前回 7, 新規 6)
生徒	市立中学校及び小中学校 (後 期課程) 2 年生約 2,000 名	②-A 生徒の食生活や意識	121 問 (前回 70, 新規 51)
		②-B 栄養摂取状況等	101 問 (全て新規)
保護者	「生徒アンケート」の生徒の 保護者約 2,000 名	③ 生徒・保護者の食生活や意識	71 問 (全て新規)

※内訳の数値は、調査項目のうち、前回と同様のものと新規の別を表す。